

<<ふれあいタイム>>

1年から6年まででグループを作り、「ふれあいタイム」としてレクリエーションを楽しみます。9日（水）に顔合わせをし、5月に行うレクリエーションを決めました。その内容で、16日（水）に「ふれあいタイム」を行いました。ドッジボールをしているグループでは、高学年がボールを取ると低学年の子に渡して投げさせてあげる場面があちらこちらで見られました。



また、おにごっこをしているグループでは、高学年がときどき鬼を代わってあげたり、低学年の走る速さに合わせて追いかけていたりしていました。どのグループを見ても思いやりにあふれ、笑顔がいっぱいの時間を過ごすことができました。これが、十東小の子ども達のやさしさの源になっているのだなということがよくわかりました。

田植え体験

毎年5年生恒例の田植えを、16日（水）に行いました。

まず最初に、田を貸していただいた山田さんや農協の方から「苗を3、4本ずつ取って植えること」「ひもの赤い印の下にしっかり植えること」など説明を聞きました。その後裸足になって田んぼに入り、ひもの前に並びました。最初のうちは、なれない泥の感触に「キャー、キャー」大騒ぎでしたが、しばらくすると慣れて、説明通り植えていくことができました。

1列植えるごとに後ろに移動するのですが、足をとられてしりもちをつく子が続出。植え終わる頃には、ほとんどの子が泥だらけになっていました。中には、顔にも泥を塗って「泥パック」とはしゃいでいるお調子者もいたようです。

秋には、稲刈り体験もさせてもらいますが、それまでのお米作りの大変な手間にも目を向け、自分たちの生活を支えてもらっている仕事の大切さも学んでいきたいと思います。

